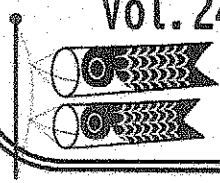


2026年5月号

Vol. 249

arch-tsushin

あーち通信



新しいプログラムが始まります！

わらべうたベビーマッサージ



肌にふれる、ふれられる、タッチの良さを知ること、これからの育児が心軽く幸せな時間になりますようように。わらべうたを歌いながら、やさしくベビーマッサージをはじめてみましょう

日時:5月21日(木) 13:30~14:00

場所:ふらっと・あーち ※バスタオルを1枚お持ちください。

新スタッフごあいさつ

<小川>・・・4月からスタッフとしてあーちに入りました小川です。前職は保育士をしていました。「親子ふれあい体操1.2.3!」では、親子で楽しい時間を過ごしていただきたいと思っています。

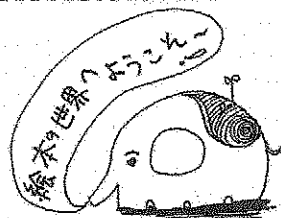
<藤岡>・・・ふらっと相談員の藤岡です。4月から新たに、あーち見守り隊(相談員)を務めています！うれしいこと、ちょっとモヤモヤすることなど、「誰かと話したいな…」そんな時にふらっと立ち寄れる場所をみなさんと一緒に作っていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いたします！

「うずらちゃんのかくれんぼ」

作:きもと ももこ

福音館書店 1994年2月発行



うずらちゃんとひよこちゃんが、かくれんぼをします。お花の中やキノコの間で隠れて、「もう いいかい」「まあだだよ」。

うずらちゃんたちの姿や表情が愛らしく、鮮やかな色使いが目を引きま。月齢が小さいうちは見るだけで、少し大きくなったら、上手にかくれたうずらちゃんとひよこちゃんを見つけてみましょう。長く楽しめる絵本です。

(あーちスタッフ 山名)

えんじえる君IIのBon

ボランティアさん
アロケラムのリーターさん
親子で楽しめる
ボランティアさん

あーちにはいろいろなボランティアさんが来ています。

子ども食堂の食事を作ってくださるボランティアのみなさま

子育ての悩みやモヤモヤをきいてくれるボランティアさん

先輩ママたち

学生の支援や子どもたちと遊ぶ学生さん

ボランティア的にかかわっています。

子どもの頭をのびやかに育てたい

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火~土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

5月予定表

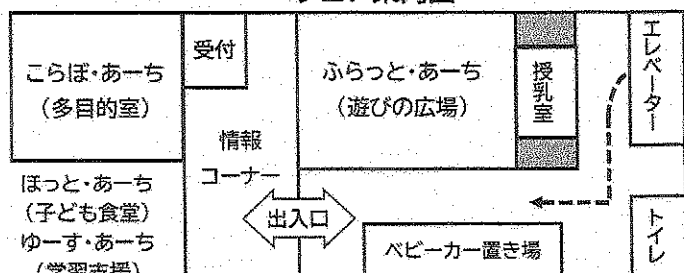
		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	金	よる・あーち 17:00~19:20	
2	土	あーちクローゼット 13:30~16:00 ※情報コーナー	
3	日	休 館	
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金	よる・あーち 17:00~19:20	
9	土	おはなしの国 11:00~11:30	あらかると音楽あそび 14:30~15:00
10	日	休 館	
11	月		
12	火		
13	水	月イチwith 10:30~12:00	
14	木		健康あーち(相談) 午前中 ベビーマッサージ 14:00~15:00
15	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA 10:45~11:45
16	土	ギフテッド寺子屋KOBÉ 13:00~16:00 ※ゆーす プラレール広場 10:30~16:00	
17	日	休 館	
18	月		
19	火		
20	水	あーち連絡協議会 10:30~	
21	木		わらべうたベビーマッサージ 13:30~14:00
22	金	よる・あーち 17:00~19:20	
23	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
24	日	休 館	
25	月		
26	火		
27	水		ベビーマッサージ 14:00~15:00
28	木		
29	金	よる・あーち 17:00~19:20	
30	土	プラレール広場 10:30~16:00	
31	日	休 館	

- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージ/わらべうたベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。また、初めてあーちを利用される方は受付に10分程かかるため、早めにご来館ください。

※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

保健師・保育士：火・金(全日) 水・木(午前)
助産師：土曜日(不定期)

お電話でも相談できます



<プログラムのご案内>

- ★あーちクローゼット…着なくなったこども服を持参ください。他の服と交換できます。(持ち込みのみ可)
- ★あーち人形劇団「むー」…自分の好きなこと、できることを持ち寄って、一緒に人形劇遊びをしませんか？
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)

※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。

- ★ギフテッド寺子屋 KOBE…ギフテッドのこどものための居場所です。保護者同士の情報交換もできます。
- ★健康あーち(相談)…大学教員(公認心理師)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith…参加者それぞれの困りごとと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★ふらっとリトミック…リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ふれあい体操 1.2.3!…遊んで育つカラダづくり♪ お子さんと一緒に身体を動かして楽しみましょう。
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★リフレッシュYOGA…肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心にした、自宅でも簡単にできるYOGAです。
- ★わらべうたベビーマッサージ…わらべうたを歌いながらマッサージして、ママも赤ちゃんもリラックス

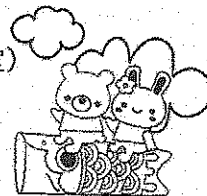
<あーち利用のご案内>

利用時間 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)

※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。

金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



日本語を教えていると、日本語と英語の違いに、私の脳がよくつまずきます。最近扱っている「～と思います」もその一つです。日本語では「面白いと思います」、否定なら「面白くないと思います」が自然で、内容を先に否定して最後に「思います」でそっと包みます。「面白いとは思いません」も言えますが、どこか角が立つ気がします。ところが英語では “I don't think it's interesting.” が自然で、日本語にするとまさに「面白いとは思いません」。これは、“I don't think” が、否定の責任を内容ではなく「自分の判断」にしているためで、英語話者にはむしろ柔らかく聞こえるそうです。一方、日本語の語順に近い “I think it's not interesting.” は強く響くという、なんとも不本意な構造です。「思います」の否定が、お互いに不本意な形で意見が届く不思議さに、思わず “I thought it was interesting.” と思いました。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

かめのえんそく

第5回 ぐるぐるぐるぐる悩むよ悩む

私の頭の中は色々な悩みで溢れています。ぐるぐるぐるぐる、嫌になるくらいです。その悩みを言葉にしようとしても、大体は整理ができていないので、いつもただらと浮かんできたことを話してしまいます。そんな自分が嫌になる時も多々あるのですが、今はぐるぐるしている自分も、私らしいかもなとも思っています。

そんな私は、ありがたいことに、思う存分ぐるぐるさせてもらえる場に恵まれてきました。だからこそ、ぐるぐるも私らしいのかもしれないと思えるようになったように思います。あーちでも、振り返りの時だけでなく、帰り道に友人に付き合ってもらって、公園のベンチに座り、お互いにぐるぐると悩みながら何ができるだろうかと話して帰ったこともありました。そして、前の職場も今の職場も、ぐるぐるを大切にもらい、仲間とともに、悩み、言葉にし、また悩み…を繰り返してきました。

今日も職場の仲間で「わいわいミーティング」という、担当者が自分が考えてみたいことをもってくる話し合いをしました。今日の話は、簡単に言うと、場にある共通のルールを設けるのかという話で、設ける場合はどこまでの範囲であるべきかというものでした。社会規範や他者のまなざしなどを一度置いておき、その子にとって…という視点から出発したいけれども、地域の中にあり、様々な子どもたちがいて、放課後に行き来する場所でもあるため、社会規範や他者のまなざしは無視できない部分があるよな～とみんな悩みました。私の職場では、これまでの傷つきやその子を過度に縛ってしまっている規範を、支援者自身も自分を問い直しながら一度ほどいていくことが大切にされています。「～は大切にしたいけれども、これはこの子/他の人にとってはどうだろうか。だめだと決めてしまわなくてよいか。どうだろう…」と、子どもたちが自分を解放しながら改めて自分と出会えるような私的な空間であると同時に公的な場でもある中で、スタッフの中には、様々な葛藤が生まれていました。話せば話すほど、それぞれの葛藤が出てきて、方向性が見えてきたものもあれば、逆にどうしたらよいだらうかと頭を抱えてしまうこともありました。それぞれにも考え方や捉え方は違い、結局何かは

っきりと決まったわけではありませんでしたが、やっぱりとお互いに大切にしたいことやもう一度問いとして持っておきたいことが共有できた気がしました。そして、その葛藤がある状態自体が、色々な子どもたちにとっての、私的でも公的でもある場づくりに繋がっているように思いました。

支援者としてはたらくようになって、好きになった言葉があります。「やりすぎ」です(笑)前に勤めていた場では「やりすぎ」という言葉をよく耳にしていた、しばらくの間、私は、「やりすぎ」とは何なのだろうと考えていました。しかし、段々と、「やりすぎ」の生む余白のようなものがわかってきました。

よく、「この人はよくてこの人はだめ」ということが起きてしまわないように、または社会に出てからやっってしまうことがないように、支援者が関わりを一定にすることが大切ではないかという話を聞くことがあります。安全面やその子/他の子どもたちを守るために必要なことも多々あると思います。しかし、一方で、「やりすぎ」という言葉は、ルールとはまた違う形で、場に規範を生みながらも、そこには余白があるので、一人ひとりによって心地よいことや不快なこと、傷つきを感じることは違ってきます。そして、その度合いも、するかしらないかというものではなく、グラデーションのように、ここまでは大丈夫だけどこれ以上は嫌だというものがあると思います。その日のその人の気持ちや身体の状態によっても違ってくるかもしれません。「やりすぎ」は、そんな一人ひとりの差異や「あなた」と「わたし」という関係性も含みながら、お互いの調整を生む言葉のように感じるようになりました。そして、その都度、これでよいのかと、自分やその子や仲間との中でぐるぐると悩むのだと思います。(…といっても、もう一度確認ですが、やはり、ルールやある一定のこれはだめだよと伝えることが大切になる場合もあるとも考えています。)

今、支援の現場は、年々わかりやすさが求められるように感じています。しかし、言葉にならないものも含めて、「ぐるぐる」が、ともに生きる中にある支援を支えているのではないかと思うのです。

(あじさい)

